（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ゆずの家

公表日　2025 年 12 月 15 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・学習、療育スペースを決めて活動している。 ・適切である。 ・適切ではあるが児童の成長に伴い頭上を注意しなければならない。	今後もスペースを十分確保し安全に過ごせるようにします
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	・適切に配置されている。 ・支援学校の児童が多いため職員は多いほうが安心。	引き続き適切な人数配置をしていきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・サーキュレーターを使っている。 ・バリアフリーにはなっていないが配慮が必要な児童は現在いない。	今後も特性に応じた対応に配慮していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・活動にあわせて使い分けしているが死角になるところがあるため工夫しながら活動している。・毎日掃除、消毒をしている。	床の補修等を検討します
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	・個別の部屋はないが落ち着くために人目が気にならないところで話をするようにしている。・自由に使える。	スペースは区切られているが音が聞こえやすい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	・PDCAサイクルを行っているかどうか分からない。 ・毎日会議をして意見交換、情報共有をしている。 ・毎月会議録を作成している。	今後も情報共有し、よりよい支援を行います。 会議で目標設定と振り返りをし今後の支援に生かせるように努めます 細かな情報を共有していきます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・評価表より出た意向をもとに会議し必要な改善を行っている。 ・年に一回機会を設けている。	教務改善に努めています
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・毎日の会議他、委員会や食事会、研修を実施し機会を設けている。 ・必要に応じて設けている。	今後も会議、研修、食事会を積極的に行い業務改善に努めていきます
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	・実施していません	今後必要であれば検討していきます
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・定期的に行っている。 ・内部、外部研修やオンライン研修を受け向上を図っている。	今後も積極的に研修に参加し支援の質の向上に努めます
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・連絡帳に公表している。 ・しおり、HP、新聞に公表している。	今後も連絡帳を通してプログラムを伝え、写真などを添付することでより伝わりやすく努めます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・半年に１回の面談時にニーズの聞き取りを行い、計画に反映している。 ・個別支援計画原案に基づきスタッフと会議を行い個々に合った支援計画を作成し、支援計画を作成しています	今後もアセスメント、モニタリング、面談を通して児童と保護者のニーズ、課題分析し個々に適した個別支援計画を作成します
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・作成する前に職員会議を行いしっかり検討している。 ・個別支援計画原案にて会議を行い児童の最善の利益を考慮した検討がなされて、共通理解の下支援を行っている。	今後も引き続き児童の最善の利益を考慮し支援していきます
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6	0	・共有されており、表にしていつでも確認できるようになっている。	今後も職員間で共有し個別支援計画に沿った適切な支援が行えるように努めます
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	・家族から提供してもらったWISC等の結果や日々の行動から確認している。 ・必要に応じて作っている。	インフォーマルは努めているがフォーマルは今後可能な範囲で検討していきます

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・具体的に分かりやすい文章で設定している。	今後も本人のニーズに沿って項目を設定し、具体的に分かりやすい支援計画書の作成に努めます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・会議をして毎日チームで相談し行っている。 ・日々のプログラムは職員間で打ち合わせして決めている。	今後も様々なプログラムを話し合いで立案していけるように努めます 同じプログラムにならない様にアイデアを出していきたい 新しいプログラム立案の為に情報収集に努めます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・マンネリ化しないように同じようなことでも少し変化をもたせている。 ・子どもの状況や課題に応じてプログラムの工夫をしている。・固定化しないように工夫、日々検討している。	今後も職員間で意見交換しアプローチや視点を変えたりすることでプログラムが固定化されないように工夫していきます。 担当者をローテーションして固定化しないように工夫します
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・個別と集団を組み合わせている。・組み合わせて支援を行い連絡帳のプログラムにも記入している。	今後も子どもの状況に応じて個別課題と集団活動を組み合わせた支援計画書を作成し支援します 集団活動は進行する職員以外のスタッフが個別にサポートして支援します
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・会議で打ち合わせを行っている。	今後も引き続き会議や打ち合わせを行いチームで連携して支援します
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6	0	・送迎後報告し情報を共有している。・送迎後に出来ない場合はメモに残しておくようにし翌日の会議で共有している。	今日の振り返りや報告などを行っているが参加出来ていない場合は後日情報共有している事を周囲にも伝える。 自分からも聞いていく、情報収集するように努める
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・連絡帳や日誌で記録している。・支援の検証、改善が必要な時はその都度会議している。	今後も引き続き業務日誌を活用して行っていきます
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・行っている。・半年に１回行っている。	今後も半年に一回支援計画の評価・見直しを行っていきます
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0	・①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供を行っている。	今後も引き続き様々な活動を組み合わせていきます
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・選択できる様に種類や数を揃えている。 ・日々の支援の中で取り入れている。 ・選択できる問いかけやどうしたいかを発信できるような工夫をしている。	自己選択する機会を作り、自己決定する体験プログラムを増やしていきます
関係機関や保護者との連	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・サービス担当者会議に支援者も参加している。	今後も引き続き参画していきます
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・連携を取っている。	今後も引き続き連携していきます
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・情報共有は行っているが基本は保護者から行事や下校時刻の確認を行っている。	今後も学校との情報共有、連絡調整など連携をとる様に努めます
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	・必要に応じて情報提供を行ってもらっている。	幼稚園、児童発達事業所利用者からは情報共有と相互理解に努めています
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	・依頼がなかったので行っていません。	今後必要であれば提供に努めていきます 相談員さんを通じて情報共有させて頂きます
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	2	4	・行っていません。	現在は必要ではないので取り入れていませんが必要に応じて連携を図っていきます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	・県立農業高等学校の生徒と一緒にさつまいもの収穫を行った。	今後も地域の子供と活動する機会を持つように努めます

携	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	・参加できる時は参加している。	今後も参加出来るように努めます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時にコミュニケーションをとるように努めている。面談時にも話をしており共通理解を持つようにしている。	今後も引き続き行い、送迎時に状況を伝えあい最近の様子や困りごとがないか伺い相談しやすい環境を整えます。 必要があれば管理者が電話で対応し共通理解を持てる様に努めています
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・家族参加の研修は行っていない。 ・家族が参加できる研修は行っていないが情報提供には努めている。	今後も相談があれば面談を通じて助言しています。 家族が参加出来る研修等は今後必要であれば検討します
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・見学や契約時に丁寧に説明を行っている。 ・行っている。	今後も丁寧な説明を行っていきます
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・面談を行って意向を確認している。 ・家族、本人共に確認を行っている。	今後も引き続き意向を確認する機会を設けます
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6	0	・行っている。	今後も引き続き説明し同意を得ていきます
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・電話やメール、面談などでその都度対応している。 ・面談の際に家族が相談しやすいよう傾聴し必要に応じて助言している。	今後も引き続き送迎時や電話、面談に応じ相談しやすい環境を整え、必要な助言を行います
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6	・保護者会等の開催は行っていません。	今後、保護者からの要望や意見等あれば検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・その都度対応している。・保護者からの伝達は管理者に報告するよう心がけている。	今後も迅速かつ適切に対応させていただきます
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・半年に一回新聞を発行している。・イベントがある際は写真を印刷して渡している。	今後も定期的に発行を続けます
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・鍵付きの棚に保管している。・個人情報の研修を行っている。 ・送迎時には書類等は外部から見えないように配慮している。	今後も引き続き徹底して継続し記名があるものへの取り扱いには気をつけ、記入する必要がある時は名前のみなどの対応を取ります
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・伝え忘れのないよう付箋を使用している。 ・口頭での説明、連絡帳に記載、電話、メール等個々に合わせた対応で配慮を行っている	今後も引き続き継続していきます
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	・招待するなどの行事は行っていない。	今後検討します
非	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・定期的に実施している。	今後も引き続き周知徹底に努め、研修や訓練を実施していきます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・２カ月に一度避難訓練を行っている。	引き続き継続していきます 外部の講習なども検討します
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・アセスメントなどで確認している。 ・契約時に確認している。	今後もアセスメント時や面談等で確認します
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・契約時に確認している。・保護者よりアレルギーのあるこどもを個別に聞き取りしている。	現在はいないが医師の指示書に基づく対応が必要な児童には対応していきます

常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・研修や訓練を行っている。	今後も引き続き継続していきます
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6	0	・新聞で避難訓練をしていることをお知らせしている。連絡帳にも記載している。 ・個別支援計画に記載している。	今後も家族との連携に努め、周知も務めていきます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハット記入後、会議を行い情報共有している。再発防止に努めている。	今後も引き続き共有し、再発防止を検討していきます
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・外部、内部の研修をしている。 ・虐待防止のため虐待委員会を実施している。	外部・内部研修を行い職員の知識向上、相談しやすい職場づくりを行うことで、虐待防止に努めます 食事会などを行い風通しの良い職場づくりに努めます
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・会議で決定し毎月適正かどうか話し合いを行い検討している。 ・個別支援計画に記載し了解を得ている	今後も検討会を行い、了解を得たうえで計画書に記載し同意を得て、行っていく。 今後もやむを得ず身体拘束した場合は記録をとり、保護者にも報告します